



Title	日米関係（沖縄返還）31(山野特連局長・フィアリー民政官会談 外務省外交史料館レファレンス番号：H250034)
Author(s)	-
Citation	平成25年度外交記録公開(1)No.1 公開日：平成25年10月30日 外務省外交史料館管理番号：2013-1000 CD・DVD番号：H25-001
Issue Date	
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43813
Rights	外務省外交史料館所蔵資料

山形特選局長・アアリ民政官会談

(本信=政府高官会談録(送))
にあり

各の局長

法規課長

条約課長 安全保障課長

アメリカ局長

参事

北米第一課長

極秘

ナ
ク
シ
ク
シ
ク

山野特選局長、フィリ-行政官会談
(12月18日、於 庁政府)

44. 12. 22. 米北- (佐友)

出席者 山野局長、岸田内閣府事務局長、尾谷援助
業務課長(特選局)、北米第一課 佐友、
フィリ-行政官、ウシニカ-行政官労働局長、
ハ-ク人員整理調整官、シ-海外官

山野局長より、ウシニカ-労働局長、ハ-ク人員整理調整官
の出席と待たせられたり、冒頭、軍内係事務若解雇問題

に付、
意見交換と行なわれ、と提案

(先分子承)、右ウイニニ2. 意見交換した。等 (行内係
内係等内係)、要旨次の通り。

1. 軍内係事務若解雇問題

山野局長より、今回の解雇通告は、突然の大量解雇
(41)

4110

RYUKYU TOKYU HOTEL



琉球東急ホテル

NAHA, OKINAWA
PHONE: NAHA (代) (8) 2151
P. O. BOX NAHA 146

那覇市天久1002
電話 那覇(代) (8) 2151
私書函那覇146号

5.

職業訓練との関係、山野局長より、総合職業
訓練行の設置につき、早急に、米側との交渉を取り

決めた旨述べたと、ウシニカ-労働局長より、
本件計画について、琉球政府より説明と受け取り

等、ウシニカ-労働局長より、ハ-ク人員整理調整官の職務
TF、山野局長より、ハ-ク人員整理調整官の職務

内容につき、暫くの間、ウシニカ-労働局長より、別添の資料
発表と午後、ウシニカ-労働局長より、目下、作成中

の今回解雇通告と付、若の技能、再教育等、ウシニカ-
労働局長より、今回中には出来、見込と述べた。

2. 内接雇係

フィリ-行政官より、先般訪中した市川全駐事務局長は、
内接雇係判裁の導入に同意と持った。

二、案に付、20日、内閣府の考案方如何と伺うた。

5.



NAHA, OKINAWA
PHONE: NAHA (代) (8) 2151
P. O. BOX NAHA 146

那覇市天久1002
電話那覇(代)(8)2151
私書函那覇146号

6.

山崎局長より、この問題については、既に政府内にて正式に話し合ったことである。今後、地位協定の適用の

ための準備の一環として、先に出てまわると述べておられる。私もこれについて、今後、今軍部の手おは、内閣府編制後の

導入に集中して行くという意向が^{子(「下中」セ)}あり、~~子(「下中」セ)~~経緯前には内閣府編制の移行を待つべきか、移行し

る場合と3つの形態を考へたか、と真剣に考へておられることと申し上げたい。

二十一日に、佐々木氏より、外務省の意見と代表者からご意見を伺った。私もこれについて、上記の山崎局長の指摘に

とも含め、準備委員会と連絡する問題については、^{この問題}と指摘した。

「不承認原則」の法的には、通過規定は締結前には内閣府編制後の導入が可能か、と伺った。

6



NAHA, OKINAWA
PHONE: NAHA (代) (8) 2151
P. O. BOX NAHA 146

那覇市天久1002
電話那覇(代)(8)2151
私書函那覇146号

7.

山崎局長より、市川軍部長は、本土では日米安保締結の一年前、内閣府編制後と採用したことに

通過前移行の可能性を云々という旨の説明の上、右意見の是非は別として、このように意見の、今軍部側は理論的

武器と手段、問題と大きく分けて可能性は常に存在してあり、その検討は必要であることと述べた。

その他、不承認原則、半例として、この問題に未だ検討してはいる。準備委員会に検討する

問題と伺う旨述べた。

(以上と同じ、別の問題については意見交換を終え、12月20日、12月21日の出席(1=)

山崎局長

7

(本信=政府郵官合渡郵便(袋)にあり)

条約課長

法規課長

安全保障課長

アメリカ局長

参事

北米第一課長

極秘

右筆

山野特選局長 ランポート高等弁務官合渡

(12月18日 於高等弁務官府)

44.12.21 米北(佐藤)

出発者 山野局長 岸日本政府特選局長 北米-保佐次
ランポート高等弁務官 オールスバウ
ランポート-ニシ外官

特選局長に2作りの

山野局長より、合の私案(前)を呈し、
佐藤ニクソン合案後の沖縄施政について、

心(別添1.2)と平交の上、
ハライニシ、説明と加え、非公或る意見交換

を行なったと提案(後方)を、
交換(1.2) (所要時間1時間半) 右筆官次へ送り。
(別添心-心と合渡印合の記録は略す)

1. 今後の情報

山野局長より、現在、米土の総選挙中との
あり、沖縄関係の情報も、若干静まりかえり

RYUKYU TOKYU HOTEL



琉球東急ホテル

NAHA, OKINAWA
PHONE: NAHA (代) (8) 2151
P. O. BOX NAHA 146

那覇市天久1002
電話那覇(代)(8)2151
私書函那覇146号

4

71年度予算の送達(12月27日) 目的、江ナと合(同感
あり) 20日(2)の educated guess 20日と述べる

11月4日にセフ。1月の中旬には、大抵個の都合(11年度
予算)の要請(明5日)の20日(沖縄援助)政府要
求の

案の詳細も、この時矢々判明(12)と述べる

3. 向接雇傭

山野局長より、復帰準備施策の一環として、復帰に

到る前(現在)に、
雇傭制度を改善し、
向接雇傭制度の

導入に20日、今後、
と述べる。今中(1)ランポート(1)話し合うことと
述べる。今中(1)ランポート(1)話し合うことと

も、この問題を直ちに考慮(12)と述べる
(extremely willing to consider this problem) 7日と述べる

